

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成22年10月4日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4677100119号
法人名	有限会社ジェーケイエル
事業所名	グループホームねむの樹
所在地	鹿児島県鹿屋市串良町有里6284-1 (電話) 0994-62-8030
自己評価作成日	平成22年7月5日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kagoshima-kaigonet.com/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成22年7月29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員が研修できる機会を多く持つようにしている。また、利用者と一緒に過ごせるようにゆったりとした雰囲気の中で介護を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

畑に囲まれた静寂な地にホームが開設し、8年になる。敷地が広くて花壇や野菜畑の管理も大変であるが、敷地内にはホームのシンボルであるねむの樹が青々と茂っている。ホーム内は快適に過ごしていただけるよう清潔に保たれている。家賃や食費を低料金に抑えるなど、利用者の身になって支援されている。利用者は毎月の外出と2ヵ月に1回程度の外食を楽しんでいる。ホームが木造づくりの為、安全対策として年2回の消防訓練と2ヵ月に1回、現実的な場面を想定した自主訓練に力を入れ、利用者の安全な暮らしの確保に取り組んでいる。また、全職員が排泄の自立に向けた支援に取り組み、成果を挙げている。家族会や運営推進会議に家族も多数参加し、運営面、サービス面に家族の意見や要望が反映されている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. 理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を掲示し、全職員で理念を共有しながら実践に向け取り組んでいる。	理念はホールに掲示し、パンフレット、重要事項にも明記している。職員会議で折に触れ、理念を確認し実践に取り組んでいる。1年に1回、職員はケアを振り返り、次年度に向け、理念に立ち返り新たな気持ちで望んでいる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	交流の機会はほとんどないに等しい。	散歩時地域の方々と挨拶を交わしたり、ホームの周囲の道路清掃をしている。高校生の実習受け入れもしている。地域の夏祭りやイベントに出かけている。	災害時、ホームが孤立する事のないよう、協力につながる地域との交流をホーム側から積極的に働きかけていく努力が望まれる。
3		事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域との交流が乏しいため、地域にむけて貢献できていない。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で報告を行い、意見や要望を出していただきサービスの向上に役立てるよう努力している。	民生委員、家族、包括支援センター職員などの参加をもらい、定期的に開催している。ホーム周辺の環境整備や案内の看板や、災害通報装置の設置などの意見をもらいサービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議時や、市町村へ直接訪問し、相談や指導を受けている。	事故報告や生活保護受給者、成年後見制度の利用状況など相談、指導をもらい協力関係を築いている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修などにより、理解を含めている。	職員会議の中で折に触れて身体拘束をしないケアについて勉強会をもち、職員の意識向上に努めている。リスクに関する家族との話し合いは入居時に説明し、日中は施錠せず見守りを重視している。帰宅願望の強い利用者は墓参り、自宅訪問など家族の協力を得ながら対応している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加し、会議などで話し合うことによって防止に努めている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉協議会の支援事業や、成年後見制度を活用している入居者もあり、研修の機会も作っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>事前に話し合いの機会を持ち、理解・納得していただけるようしている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議時や、面会時などに、意見・要望を聞いており、他に市町村の担当部署も紹介している。</p>	<p>年4回の家族会、面会時に意見要望を聞いている。「畑や花壇を増やして欲しい」などの意見、要望をもらっている。入浴時の携帯品についても明記し、風呂場の入口に掲げ、全員が気をつけるよう改善、運営に反映させている。ホーム便りも年6回発行し、職員の異動も掲載している。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員会議で意見や提案を聞き、反映できるよう努力している。</p>	<p>朝の申し送りも合同で行い、利用者の情報を共有している。職員会議でも職員の意見を聞き、運営に反映させている。利用者の入居に関しては最低でも1泊体験入所してもらい、職員サービス内容の提案を反映させ利用開始となる。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>短時間の職員を新しく採用し、職員の負担を減らしている。また、賞与など行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修等の案内がされ、出来るだけ参加できるように支援している。また、資格取得を目指している職員も多い。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>いろいろな研修会での交流や、協議会への参加によって、勉強会や情報交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前にサマリーなどで情報を頂き、事前の面会や体験入居などで関係づくりに努めている。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>事前に面会し、相談を受けている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>事前の面談や体験入居などで、サービスの方針を決めている。また、居宅介護支援事業所など紹介している。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>出来ることは一緒に行っている。また、入居者が他の入居者を手伝っている場面も見られる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時に話し合いの機会を持ったり、家族会に参加していただいている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>面会に来れない高齢な御兄弟のところなどに、一緒に行ったりしている。</p>	<p>墓参り、自宅訪問などでなじみの人や場所との関係継続を支援している。友人、知人の訪問もありホームも面会者にホームでの催しに案内状を出して関係継続の支援に努めている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>レクレーションなどは皆が参加できるように工夫している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用 契約 が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約が終了した場合は、疎遠になっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>朝食の時間をずらしたり、本人のペースで過ごせるように支援している。</p>	<p>利用者の言動や表情、サインから思いや意向を把握している。寂しい表情の利用者の改善策として身内を訪れ、会話をもたせたことで元気を取り戻した例など、本人本意に取り組んでいる。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>サマリーを参考にしたり、本人への面談や家族等の面会時に情報収集を行っている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>バイタルチェックや、食事・水分摂取量など記入している。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ケア会議で、本人・家族・主治医・職員の意見を話し合い介護計画に生かしている。</p>	<p>モニタリングは3ヵ月～6ヵ月に1回実施。家族の意見、要望は面会時に聞いてケア会議で話し合っている。散歩、ドライブなど楽しく過ごすことが出来るサービス内容を盛り込み、現状に即した介護計画を作成している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケース記録を作成し、ケア会議などで意見を出すようにしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>毎月ケア会議を行い、柔軟に対応できるようにしている。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>本人がなるべく自力で快適に暮らせるように、サービスや資源を活用できるように支援している。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居以前からのかかりつけ医が決まっている方はそのまま継続して頂き、職員も病院に同行している。</p>	<p>本人、家族希望のかかりつけ医である。必要に応じて受診の支援も行っている。家族同伴の際は口答で報告をいただいている。今後、ホームでの状況提供表を持参するよう準備中である。受診結果は、変化があればその都度報告している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>少しの変化でも看護職員や訪問看護ステーションに伝え、相談している。特変時は電話連絡し指示を仰いだり、訪問していただいている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>定期的に面会に行ったり、電話連絡などで状態を常に把握できるように努めている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>家族、主治医をふまえて、話し合いの機会を設け方針を決めるようにしている。</p>	<p>医療連携体制ができており、入居時に看取りの指針について説明し、同意を貰っている。利用者の状態に応じてその都度家族と話し合い、意見を確認している。職員間でも看取りについて話し合い、勉強会をもち、不安軽減に結びつくように対応している。</p>	<p>職員の力量、体制などを考慮し、ホームでできる支援を話し合い、再度看取り指針の整備に取り組んで欲しい。</p>
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>普通救命講習に参加するようにしている。また、勉強会など行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練を行い緊急時に備えている。</p>	<p>年2回消防署立会いの訓練を実施している。夜間想定自主訓練も2ヵ月に1回行っている。避難に要する時間やかけつけてくる職員の時間を計ったり、現実的な体験訓練が出来ている。数人に通知できる通報システムも設置している。</p>	<p>今後も地域住民へ防災訓練への参加を呼びかけ、2次的見守り支援などの協力が得られることを期待したい。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、優しくゆっくりと声掛けし不快を与えないよう心がけている。	声掛けについては職員全員でお互いに注意し合っている。利用者が自己決定しやすい言葉かけに配慮している。職員の自然体での関わり、同じ目線での会話、トイレ誘導時の対応など、利用者の誇りやプライバシーに配慮したケアを実践している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が理解しやすいようにゆっくり話す。理解が困難な利用者にも根気強く話すようにしている。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員が決めたことを優先しがちだが、利用者のペースに合わせることを心がけるようにしている。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	2ヶ月に1度美容室の方に来ていただき散髪などしてもらっている。			
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は色どりや盛り付けなど工夫し、一緒に料理したり、片づけをしたりしている。	利用者の嗜好を取り入れながら栄養バランスを考えた献立を作成している。利用者のできることは職員の見守りのもと一緒に取り組んでいる。2ヵ月に1回ほど外食を楽しむ。野外でバーベキュー、そうめん流し、ピクニックなど実施し雰囲気を変えた食事支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事、水分量を記入するようにしており、水分摂取量が少ない方は飲み物の工夫やこまめに飲んでいただいたりしている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後声掛けし歯磨きを行っている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>状況記録にて、排泄パターンを確認し、定期的に誘導している。</p>	<p>状況記録の排泄チェックを活用し、一人ひとりの排泄パターンに応じてこまめに声掛け、誘導を行っている。本人の一番良い排泄対応を職員で話し合い、自立に至っている。昼夜間ともオムツ使用者はいない。3分の2の利用者が自立排尿ができています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>毎朝、牛乳、白湯を飲んでいただき、体操や運動を行っている。また、服薬にて調整している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	職員の都合で曜日を決めているが、入浴をされない方は足浴をしていただいている。	一日おきが基本であるが、希望に応じてその都度入浴支援している。個別浴で対応している。家族風呂を貸しきって温泉を楽しむこともある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの状況に応じて好きな時間に休めるようにしている。日中昼寝をされる利用者もおられる。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の説明書をそれぞれ確認し理解している。症状の変化時は看護師が確認し、連絡・指示している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その日の状況に応じて、買い物、散歩、掃除など職員と一緒にしている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ホーム周辺の散歩をしている。月に1回程度外出日を決めている。また、家族が遠方の利用者は帰省された際に外出等をしていただいている。	季節や天候、日々の利用者の様子の違いを察知し、近隣の散歩やドライブ、買い物など個別に支援している。地域行事への参加やホーム行事に家族も参加し連携も図っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>金銭は職員が管理しているため利用者が所持することはないが、必要なものがあれば一緒に行ったり購入してきたりしている。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>家族への連絡時等に、声掛けをして話していただいたりしている。年賀状などは家族へ出されている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日掃除し、清潔を保つようにしている。季節感のあるものが少し足りないように思う。</p>	<p>ホールの壁には利用者と一緒に作った行事毎のはり絵や塗り絵が掲示され、たたみ部屋やソファなどを配置し、ゆっくりくつろげる場所を確保している。リビングは台所の様子が伝わり、テレビを見たり利用者同士や職員との会話を楽しむくつろぎのスペースとなっている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>食堂以外にソファを用意しており、ゆっくりできる場所を確保している。また、居室にもソファを置かれている入居者もいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>必要物品は家族に相談し準備していただいたり、購入したりしている。</p>	<p>畳の居室もあり利用者の安全上、また、身体状況に応じてベッドや布団使用になっている。なじみの物品が持ち込まれ家族などの写真も飾り、居心地良く過ごせるよう配慮した居室になっている。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>手すりの設置や表札などわかりやすくしている。</p>			

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1 ほぼ全ての利用者の
		2 利用者の2/3くらいの
		3 利用者の1/3くらいの
		4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1 毎日ある
		2 数日に1回程度ある
		3 たまにある
		4 ほとんどない
58	利勝者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36,37)	1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ全ての家族と
		2	家族の2/3くらいと
		3	家族の1/3くらいと
		4	ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ毎日のように
		2	数日に1回程度ある
		3	たまに
		4	ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1	大いに増えている
		2	少しずつ増えている
		3	あまり増えていない
		4	全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1	ほぼ全ての職員が
		2	職員の2/3くらいが
		3	職員の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1	ほぼ全ての家族等が
		2	家族等の2/3くらいが
		3	家族等の1/3くらいが
		4	ほとんどいない